

MMS 研究会 2005 年度第 1 回拡大幹事会議事録

日 時：2005 年 6 月 18 日（土）

場 所：北海道 千歳市 支笏湖観光ホテル

出席者：浅野哲秀、林 真、矢嶋信浩、森田 健、宇野芳文、本間正充、鈴木孝昌、中川宗洋、
大山ワカ子、浜田修一、山影康次、菊池康基、祖父尼俊雄、田中憲穂、長尾美奈子、
松元郷六、中川ゆづき、中村真人、山内恵美子
(欠席：中嶋 圓、嶋田佐和子)
(順不同、敬称略)

新幹事：2005 年 5 月に行われた幹事選挙により選出された新幹事による協議の結果、以下の方々
が新幹事となりました。任期は 2005 年 6 月～2007 年 6 月の 2 年間です。よろしくお願
いします。

会 長：浅野哲秀

庶務幹事：山影康次

会計幹事：中嶋 圓

幹 事：林 真、矢嶋信浩、森田 健、宇野芳文、本間正充、鈴木孝昌、兵庫淳志、
中川宗洋、嶋田佐和子

議題

1. 47 回定例会で提案された懸案について

- 1) CGX Database (by Kirkland)へのデータ入力協力要請について
Dr. Kirkland らが構築した遺伝毒性試験データベース (CGX database) に in vivo 小核
データを追加する入力作業の協力要請については、参加可能な会員は林会員にメール
(hayashi@nihs.go.jp) で連絡することとした。
- 2) 2006 年 3 月 15 日、16 日に開催されるシンポジウムの MMS 協賛について
大阪市立大学医学部の福島先生が遺伝毒性とガン原物質の閾値に関するシンポジウム
を大阪で開催する。これについて、MMS としては協力することとし、金銭的な協力内容
等の具体的なことは大会委員長と協議しながら決定することとする。
- 3) JEMS 34 回大会 (東京) の Negative データに関する Symposium の協力要請について
宇野会員より Negative Symposium の趣旨説明があり、MMS としては以下のように対応
することとした。
 - ・シンポジウムの共催というかたちで協力する。
 - ・Symposist として Dr. MacGregor を招待し、その渡航費については MMS で出費する。
 - ・シンポジウムの企画に関しても、MMS として積極的に協力する。その他、negative data を収載した journal は 2 冊ほど有るようであるが、データベ
ース化するなど、シンポジウム開催で終わらせない何らかの方策が必要ではないかという
意見がだされた。
- 4) 2007 年夏開催予定の第 8 回国際染色体異常シンポジウムについて
2007 年に国際染色体シンポジウムを日本で開催する予定で、来年の春には組織委員会を
立ち上げる予定となっている。このシンポジウムについては 2001 年に MMS が主催した
が、2007 年開催のシンポジウムについても MMS 主催で行うこととする (51 回定例会)。

2. 49 回定例会について

この件については、会長預かりとし、詳細については後日協議することとする。

3. コメントアッセイ共同研究について

47 回定例会で公表された pre-validation study の結果を踏まえ、pre-validation study の今後の方針について協議した。その結果、今回実施した pre-validation study では 3 機関で結果のバラツキ（相違？）がみられ、3 機関で大きく異なる実験条件として電気泳動時の電流値の相違が指摘された（安科研：900 mA、食薬：500-700 mA、安評：300 mA）。このことを考慮して、EMS は 250 mg/kg (p.o.) で追加試験を行う。追加試験では、3 機関で同一の電流値（安評の条件：300 mA）で電気泳動を行い、前回の実験結果の再現性と 3 機関の再現性を検討することになった。